

” 夏のとくみ ”

平和パネル展・学習会 各地で開催！

茨城の戦争展 平和考えるきっかけに

写真など75点を展示 ＊水戸西平和の会＊

戦争と平和について考えるきっかけにしたいと、「茨城の戦争展」（水戸西平和の会など主催）が水戸市赤塚の「コープ菜の花福祉センター」で8月6日～8日に開催されました。

『毎日新聞にて紹介』

【以下、毎日新聞の記者の取材記事】

『戦争展は今回で5回目。茨城、沖縄、原爆の三つのテーマで、当時の写真や資料など計75点を展示。原爆では、背中全体が赤く焼けただれた16歳の少年のカラー写真や、爆心から700メートル付近で焼死した少年の写真などがある。』

この日は、沖縄の米軍基地問題を調査した県平和委員会の伊達郷右衛門代表理事が報告会を行い、約20人が参加した。伊達氏は、1945年のポツダム宣言後、本土では民主改革が実施されたのに対し、沖縄では米軍基地が建設された点を挙げ、「米国の



【写真でも学習会を紹介】

役割はまったく逆」と指摘。沖縄での基地返還など土地返還を巡る運動は「反植民地闘争」と強調した。

参加者から「沖縄は本当に基地を返還してほしいと思っているのか」と質問が飛ぶと、伊達氏は基地と経済の関係に触れ、「お金を落としてくれれば楽じゃないかということ。（問題の構造は）原爆と同じ。心をゆがめているのは基地だ」と話した。

水戸西平和の会の小川弘二代表世話人は「県民にも沖縄の米軍基地の問題を理解してもらい、沖縄から基地をなくす運動を進めていくのが願い」と話した。』

抗議電（FAX）・メールを打とう！！ 北海道知事が泊原発3号機の営業運転を容認

北海道の高橋はるみ知事は、17日（水）、道庁で記者会見し、北海道電力・泊原発3号機の営業運転を18日から容認することを表明しました。

泊原発3号機は3月の東京電力福島第一原発事故以来、5ヶ月に渡って、異常な「調整運転」を続けてきました。今回、「調整運転が長期に続くのは望ましくない」、「国の手続きに異議はない」として18日から営業運転を認めたものです。

世界最悪規模の東京電力・福島第一原発事故の全容も解明されていないなかで、「安全」のお墨付きを与え、強引に営業運転再開を認めた政府も、それに追随した高橋はるみ北海道知事の姿勢も許されるものではありません。

泊原発3号機の建設をめぐる道の意見公募や「意見を聞く会」に対し、社員に「極秘」の指示文書を出し、「ひな形

文書」まで出すなどの「やらせ」を行なったことが発覚し、北電社長が陳謝しています。

運転再開に反対してきた「原発問題全道連等会」など、市民団体や福島第一原発事故で避難してきた住民から「事故から何も学んでない」「つらい思いをしてほしくない」等の、怒りや失望の声が上がっています。

茨城平和委員会は18日代表理事会を開催し、県平和委員会として北海道知事に抗議を行なうことを決めました。各平和の会・平和委員会はもちろん個人も、また他団体に呼び掛けて抗議しましょう。例文を提示しますが、これにこだわらず自由に作成してください。

「泊原発3号機の営業運転は許せない。国民の声を聞け」
「泊原発3号機を即時停止し、廃炉に向けて安全対策をしろ」

自前でパネル制作し、展示

＊内原・友部平和の会＊

笠間市立友部図書館ギャラリーで、8月9日～21日の2週間に亘り、内原・友部平和の会では「原爆と原発！放射能を考える」をテーマに自前で制作したパネルを主体に平和展を開催しました。

【展示パネルの一部】



『友部平和の会を初めて知り、活動の内容を聞き、無報酬・ボランティアと聞き又おどろきました。今回の大地震を機に開催したタイミングもよいと思います。』などの感想が寄せられました

7/25 付けのお名前が間違っていました。

下記のように訂正しお詫び致します。

(誤)鈴木 秀一さん(正) 鈴木 勝善さん(牛久市)

(誤)服部 勝善さん(正) 服部 秀一さん(牛久市)

【抗議先】

北海道知事 高橋はるみ 様

住所 060-8588 札幌市中央区3条西6丁目 北海道庁秘書課

電話 011-231-4111 (大代表)

FAX 011-241-8181 (知事秘書課)

平和新聞

2011年8月15日・8月25日合併号

1964号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 602 合併号

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
2011.8/15・8/25
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

つくばみらい平和の会

8/7(日) 総会・学習講演会



8月7日「つくばみらい平和の会第4回総会」を谷井田コミュニティセンターで行いました。「原水爆禁止国民平和大行進」「原発事故・放射能学習会」の二つの大きなイベントに続いての総会でしたが、17名の会員が出席し無事終了しました。

総会議長に堀孝子さんを選び、会代表小川三世さん・県代表伊達郷右衛門さんの挨拶、そして活動報告・方針、会計報告を芦田洋治さんが行いました。討論の後、全員で議案を採決しました。続いて役員選出で5名を選び、役職を次のように決めました。

総会後、伊達さんを講師に学習講演会を行いました。

ヨーロッパの戦後平和運動が第3次世界大戦の危機から始まり、キュリー博士ら知識人が呼びかけた平和擁護世界大会、それに応えた平和擁護日本大会(1949年)に日本平和委員会の源流があったことを語られました。

茨城の平和委員会の歴史も語られました。講演後、『なぜ平和委員会の名前なのか』などの質疑応答がおこなわれました。短時間でしたが充実した学習会になりました。

第2回理事会のお知らせ

今年度の大会方針にもとづき、秋の運動の取り組みを具体化するために表記の会議を開催致します。ご多忙とは存じますが、ご出席下さるようお願いいたします。

- と き：9月4日(日) 午後1時～午後5時
ところ：水戸市福祉プラザ会館(赤塚駅前ビル)
通称ミオス(029-309-1001)
議 題：①大会以後の運動のまとめ
②秋の取り組みの具体化について
③原発なくそう対策委員会について
④仲間づくり、及び、財政について
⑤その他



北茨城平和の会・藤田稜威雄さんよりのメール

Mon. 1 Aug. 2011

それにしても原発問題、時間が経過するにつれ新たな事実が次から次へ出てきてイヤになります。なかでも原発テロ問題で外務省が調査資料を隠したこと。

「北朝鮮は日本にミサイル攻撃どころか、日本を攻撃するなどという力はない。日本海側の原発は、日本国が北朝鮮はせめて来るはずがないという前提で立地したものだ」などと、「九条の会」「つどい」などで話してきましたが、外務省では原発が攻撃された時の想定被害を調査研究していた。その結果があまりにもひどい被害になり公表すれば反原発にますます火がつくことになる。ゆえに公表せずと。イスラエルがイラクの原子力研究施設を空爆したことに衝撃を受け、調査したようです。日本など戦争どころではない。いつ地震津波が襲ってくるかわからないのに・・・

新婦人はなみずき班主催

DVDをみる会『東京原発』

2004年製作劇映画で、役所広司・段田安則・平田満などの豪華キャスト

2011年9月3日(土)

pm1:00~pm3:00

*どなたでも参加下さい。

笠間市立友部図書館視聴覚室 入場無料

9条の会ごか

恒例の「鐘つき」で不戦の誓い

お誘い合わせの上、ご参集くださいませ。

日時・場所：9月9日(金)午前9時

善照寺の鐘楼前

(五霞町江川1441-1)

実施要領：憲法の前文及び第9条を唱和し、各自の想いを込めて鐘つき。

9時半から茶話会(会費無料)

茶話会では皆さんの「想い」を出し合って交流!

問い合わせ：大谷隆照 Tel 0280-84-0726

[シリーズ] わが街・わか会員

牛久市 / 谷口 誠一 さん (取手平和委員会)



学生時代、先輩からデモに誘われ、ベトナム戦争の悲惨さを学んだ。枯葉剤がまかれベトちゃん・ドクちゃんをはじめ多くの奇形の子供たちを生み出した。同時期、原水爆禁止運動のあることも知った。

高校時代、学校の図書館で見た広島・長崎の原爆の惨状を写した写真集を見ていたが、恐ろしいという感情は沸いたが、戦争に対する憎しみには至らなかった。デモのシュプレヒコールを声枯れても市民に訴え、友達と「社会の問題や平和問題」を語る中で、原爆の非人間性や国際条約違反の兵器であったことを知り、戦争が人間性を変えてしまうことも知った。平和でなければ人名も文化も文明も、正義も愛もなくなってしまうことを知った。

教員という職業に就いた。毎日の授業を繰り返す中で、組合からの原水爆実験禁止の署名に触れた。学生時代にも署名をしていたが、今回は、生徒のいのちのことを考えた。一瞬でこの生徒たちの生命が消えてしまう、溶けてしまう。以前より署名に力が入った。

戦争と平和の問題を組合の中でも常に取り上げられ、取り組むよう組合の定期大会でも取り上げられた。しかし、この問題は組合だけの枠で目的がとげられるような問題ではない。もっと広範な市民と手を組まなければ、世界の人たちとも連帯しなければならない問題だ。

組合の平和に関する学習会で、その講師が平和委員会からの派遣であることをした。平和委員会が一貫して「戦争と平和の問題」を取り上げ、戦う組織であることを知った。

退職して今、いろいろな民主運動にかかわって、「戦争と平和の問題」が最も基本的な問題であることを知った。一人でも多くの人たちが平和委員会に加入し、子供たちの命とくらしを守る運動に参加してほしい。

南京市 日中友好紫金草花園完成記念

愛と平和の音楽祭

2011年8月27日(土)

pm1:30開場、pm2:00開演

小美玉市四季文化館「みの〜れ」

入場料：一般¥1,000 高校生以下¥700

第1部 孫 曼 アコーディオン演奏

第2部 紫金草合唱団

